

一般社団法人ディペンダビリティ技術推進協会
第3回総会・オープンシンポジウム



一般社団法人
ディペンダビリティ技術推進協会 (DEOS協会)
活動報告

2016年6月8日

一般社団法人ディペンダビリティ技術推進協会理事長
所 眞理雄
(株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所)

D-Caseロゴ商標登録



D-Caseロゴが商標登録されました

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分 第9類・第42類

(ディペンダビリティについて利害関係者が合意し、社会に説明責任を果たすためのコンピュータプログラム。コンピュータシステムの開発・運用・保守・廃棄などのライフサイクルを通じて、コンピュータシステムのディペンダビリティについて利害関係者が合意し、社会に説明責任を果たすためのコンピュータプログラムの設計製作・保守およびこれらに関する指導・助言。)



出願日 平成27年6月12日

登録日 平成28年4月1日

DEOSロゴ商標登録



DEOSロゴが商標登録されました

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分 第41類

(芸術・スポーツまたは知識の教授、セミナーの企画・運営または開催、興行の企画・運営または開催)

出願日 平成27年12月4日

登録日 平成28年5月13日



DEOS認証*



D-Case認証取得(2016年5月16日)

- 株式会社豆蔵殿
 - 認証対象: D-Case教材(「D-Case教育シラバス」ならびに「D-Case構文定義書(v1.1)」に基づき製作された教育教材)に対する認証

* IPA技術本部ソフトウェア高信頼化センター ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン準拠

役員人事(2016年6月8日付)



- 松田 晃一 理事 ご退任
- 屋代 眞 理事 副理事長ご就任

一般社団法人ディペンダビリティ技術推進協会 (略称DEOS協会) 2013年10月22日設立



- **事業継続・説明責任遂行の手法の確立**
 - OSDとDEOSプロセスの深化・発展
 - 目的・対象別のDEOSプロセス適用支援
 - ディペンダビリティ向上を通しての社会貢献
- **オープンシステムディペンダビリティ技術の標準化**
 - OSD/DEOS標準化情報の共有と国際標準化の推進
- **DEOSに関連した産業の育成**
 - システム構築、ツール、コンサルティング、認証など新規事業創出
 - ディペンダビリティ要件の厳しいビジネス領域の立ち上げ
- **オープンシステムディペンダビリティ技術の普及**
 - 講習会の開催
 - ツール・サンプルシステムの先行試用、無償使用
- **会員間での非競争領域の共有**
 - 事例、基盤プラットフォームの構築、等

ディペンダビリティ技術推進協会 (DEOS協会) 組織 2015年6月

ディペンダビリティ技術推進協会 (DEOS Association)

理事長 所 眞理雄
 理事 松田 晃一
 理事 山浦 一郎
 理事 屋代 眞
 理事 竹岡 尚三
 理事 平鍋 健児
 理事 中川 雅通
 理事 坂田 洋幸 (最終確認中)
 監事 佐々木栄美子

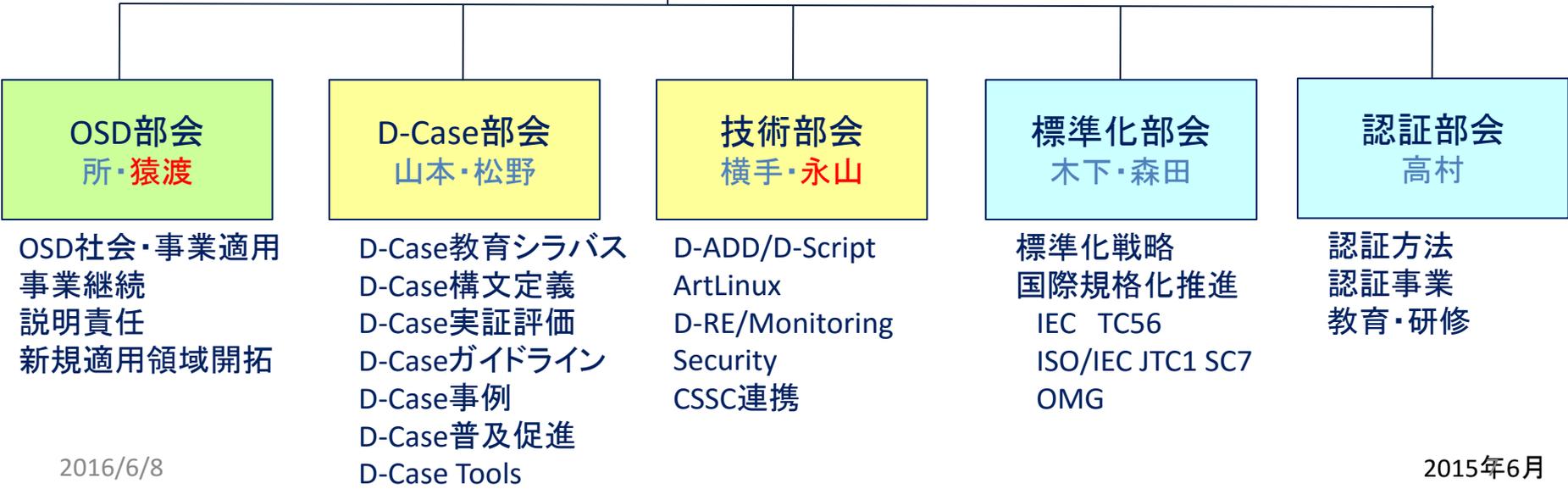
理事会
 理事長・理事・監事

戦略策定
 活動計画策定
 普及活動方針
 事業化検討
 資金計画策定
 知財関連方針

理事会運営
 運営委員会
 部会運営支援
 普及・広報

事務局
 竹岡・小阪・山浦・屋代・西尾

運営委員会
 理事会・部会主査/副主査・事務局



ディペンダビリティ技術推進協会 (DEOS協会) 組織 2016年6月

ディペンダビリティ技術推進協会 (DEOS Association)

理事長 所 眞理雄
 副理事長 屋代 眞
 理事 山浦 一郎
 理事 竹岡 尚三
 理事 平鍋 健児
 理事 中川 雅通
 理事 坂田 洋幸
 監事 佐々木栄美子

理事会
 理事長・理事・監事

戦略策定
 活動計画策定
 普及活動方針
 事業化検討
 資金計画策定
 知財関連方針

理事会運営
 運営委員会
 部会運営支援
 普及・広報

事務局
 竹岡・小阪・山浦・屋代・
 西尾・町田・山下

運営委員会
 理事・部会主査/副主査・事務局

新規

OSD部会
 所・山下・町田

OSD社会・事業適用
 事業継続
 説明責任
 新規適用領域開拓

新規 **技術部会**
 DEOS技術の理解や議論の場
 DEOS活動成果の活用促進
 DEOS関連技術の統合
 山浦・中川

D-Case部会
 山本・松野・小林

D-Case教育シラバス
 D-Case構文定義
 D-Case実証評価
 D-Caseガイドライン
 D-Case事例・普及促進
 D-Case Tools

D-ADD部会
 永山・横手

D-ADD/D-Script
 ArtLinux
 D-RE/Monitoring
 Security
 CSSC連携

名称変更

標準化部会
 木下・森田

標準化戦略
 国際規格化推進
 IEC TC56
 ISO/IEC JTC1 SC7
 OMG

認証部会
 高村

認証方法
 認証事業
 教育・研修

DEOS協会会員(2015年6月現在)

正会員	23社	(5社)
賛助会員	3団体	(2団体)
学会会員	16名	(-3名)

正会員

株式会社アックス
アップウィンドテクノロジー・インコーポレイテッド
株式会社アトリエ
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
株式会社OTSL
オムロン株式会社
株式会社サイバー創研
株式会社ジェーエフピー
株式会社 Symphony
株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
株式会社チェンジビジョン
株式会社デンソークリエイト
パナソニック株式会社
PCIソリューションズ株式会社
富士ゼロックス株式会社
富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社
富士ゼロックス情報システム株式会社
株式会社富士通ディフェンスシステムエンジニアリング
株式会社ベリサーブ
株式会社豆蔵
三菱電機株式会社
株式会社Minoriソリューションズ
横河電機株式会社株式会社

学会会員

片平 真史(独立行政法人 宇宙航空研究開発機構)
木藤 浩之(東京大学)
木下 佳樹(神奈川大学)
倉光 君郎(横浜国立大学)
河野 健二(慶應義塾大学)
白坂 成功(慶應義塾大学)
高井 利憲(奈良先端科学技術大学院大学)
武山 誠(神奈川大学)
田丸 喜一郎(情報処理推進機構)
中原 早生(神奈川大学)
平井 誠(神奈川大学)
松野 裕(電気通信大学)
森口 草介(神奈川大学)
山本 修一郎(名古屋大学)
湯浅 能史(神奈川大学)
横手 靖彦(慶應大学)

賛助会員

一般社団法人スキルマネジメント協会
一般社団法人スマートシステム検証技術協会
一般社団法人TERAS

DEOS協会会員(2016年6月現在)

正会員 26社 (6社増、2社減)
賛助会員 3団体
学術会員 16名

正会員

アイコクアルファ株式会社
株式会社アックス
アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド
株式会社アトリエ
イーソル株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
株式会社OTSL
オムロン株式会社
株式会社シーイーシー
株式会社 Symphony
株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
株式会社チェンジビジョン
株式会社ディアスクエア
DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
株式会社デンソークリエイト
パナソニック株式会社
PCIソリューションズ株式会社
富士ゼロックス株式会社
富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社
富士ゼロックス情報システム株式会社
株式会社富士通ディフェンスシステムエンジニアリング
株式会社ベリサーブ
株式会社豆蔵
三菱電機株式会社
株式会社Minoriソリューションズ
横河電機株式会社

学術会員

片平 真史(独立行政法人 宇宙航空研究開発機構)
木藤 浩之(東京大学)
木下 佳樹(神奈川大学)
倉光 君郎(横浜国立大学)
河野 健二(慶應義塾大学)
白坂 成功(慶應義塾大学)
高井 利憲(奈良先端科学技術大学院大学)
武山 誠(神奈川大学)
田丸 喜一郎(情報処理推進機構)
中原 早生(神奈川大学)
平井 誠(神奈川大学)
松野 裕(日本大学)
森口 草介(神奈川大学)
山本 修一郎(名古屋大学)
湯浅 能史(神奈川大学)
横手 靖彦(サイバーアイ・エンタテインメント)

賛助会員

一般社団法人スキルマネジメント協会
一般社団法人スマートシステム検証技術協会
一般社団法人TERAS

DEOSの特徴



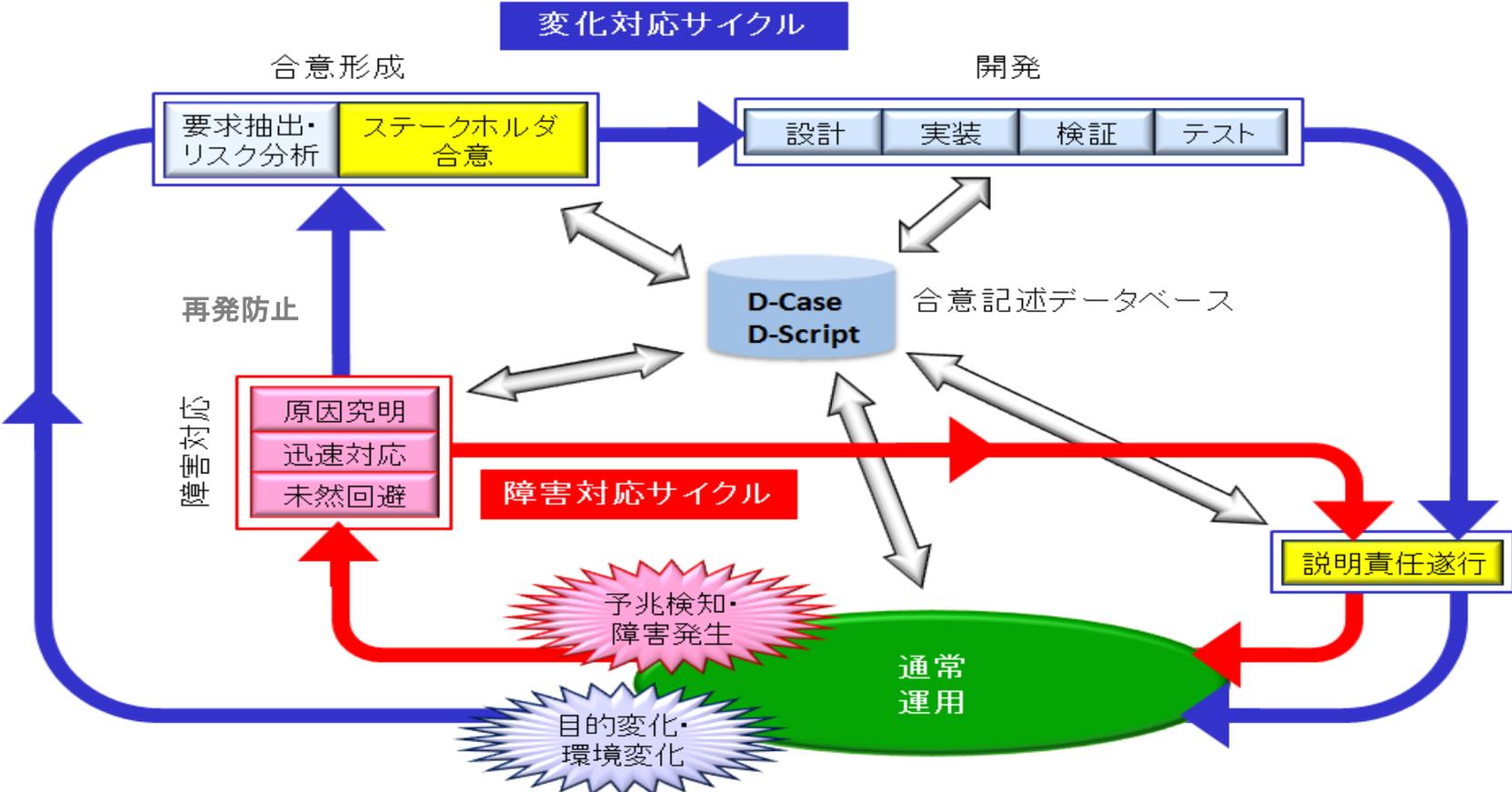
- 変化しつづけるシステムを対象としたこと
 - 長期運用・連続運用
 - 目的、環境、技術、法規制が変化
 - システム境界が変化 (外部システムとの接続)
 - 設計・開発と運用を分けられない
- 説明責任を果たせること
 - ステークホルダ合意に基づくシステムの設計・開発・運用
 - Cf. 妥当性検証に基づく設計開発・運用
 - ライフサイクルを通じた一元管理

DEOSに対する期待の変化



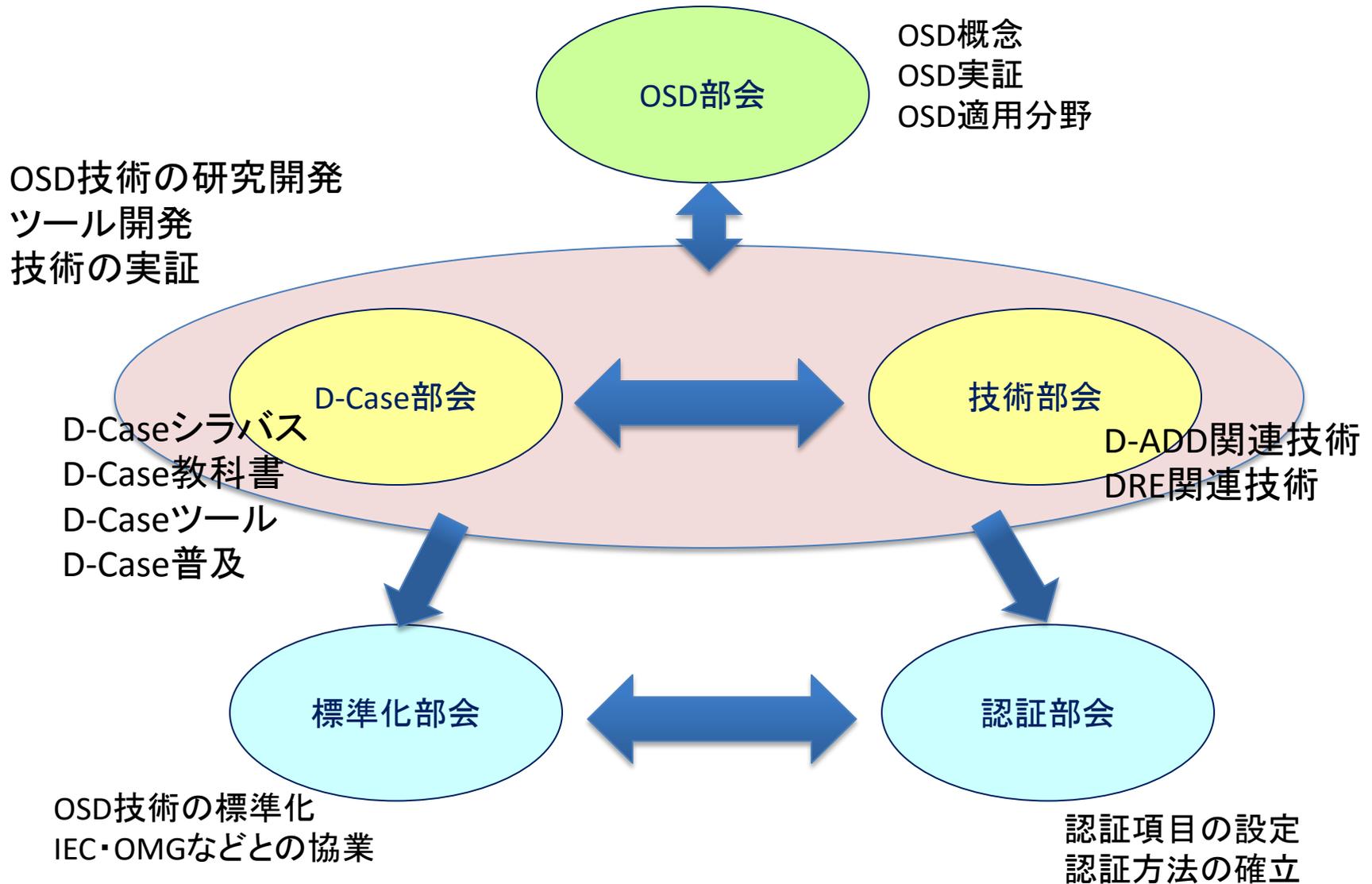
- D-Case記述からDEOSプロセス運用へ
 - D-Case記述の普及
 - 自動車関連（自動走行・ITS）、IoT関連分野からの期待
 - 継続的運用への適用とD-ADD
 - 文書間・ツール間の整合性の見える化
 - 長期運用への適用（電力システム）

DEOSプロセス



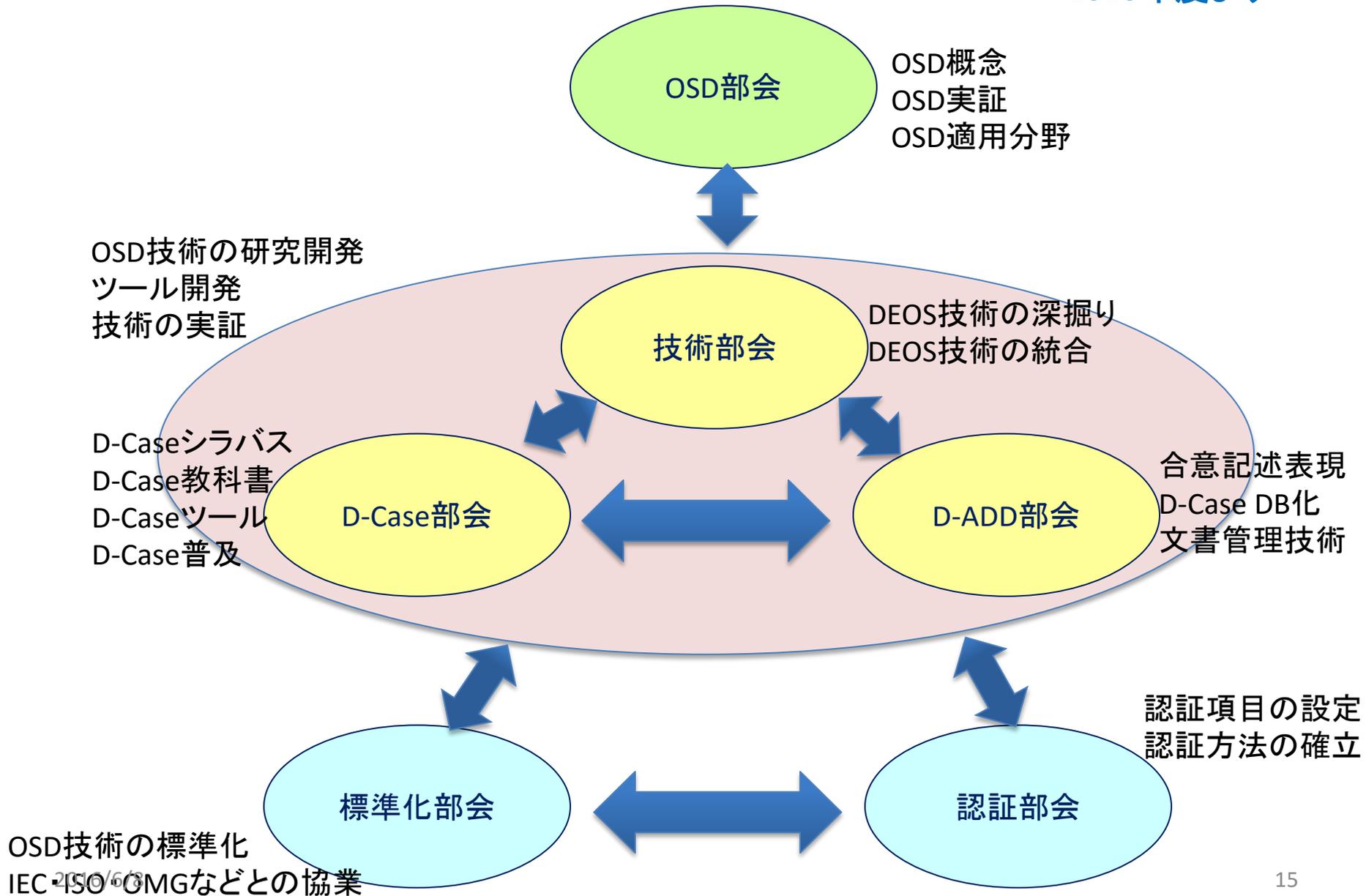
DEOS協会 部会相互関連図

2015年度まで



DEOS協会 部会相互関連図

2016年度より



OSD部会活動報告



- 運営体制： 主査 所 眞理雄 副主査 山下裕介・町田欣史
- 活動方針： 新規応用分野の開拓・OSD/DEOSの深化・OSD/DEOSの広報・啓蒙
- IoT、クラウドコンピューティング、自動操縦、ITSなど新規応用分野に対応
- 人・社会の側面も含めた「安心性」工学への発展
- OSD部会を2014年8月より毎月開催し、業界動向、新規応用分野の開拓に努め、併せて、新規会員獲得に結びつけた。

参加 理事会承認日	企業名
2015/7/13	株式会社ベリサーブ
2015/7/14	イーソル株式会社
2015/11/16	DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
2016/2/15	アイコクアルファ株式会社
2016/3/14	株式会社シーイーシー
2016/5/16	株式会社ディアイスクエア

OSD部会 2015年度活動内容(1/3)

2014年度から継続して、DEOS技術や関連技術に関する話題提供を毎月実施

開催日時 DEOS運営会議の終了後(通常17時～19時)

開催場所 ソニーコンピュータサイエンス研究所 大会議室

回・日時	発表者・所属	タイトル
第9回 2015/4/20	屋代真(会津大学)	情報システム運用時の定量的信頼性向上方法に関する調査報告書について
	白坂成功(慶大SDM)	慶應SDMにおけるイノベーション創出に方法論とイノベーション人材の育成
第10回 2015/5/18	武山誠(神奈川大学)	DEOSプロセスとライフサイクルに関する議論(IEC 62853における定義に関連して)
	井上樹氏(豆蔵)	IoTとシステムズエンジニアリング
第11回 2015/6/15	猿渡卓也(NTTデータ)	企業におけるアシュアランスケースの適用
	永山辰巳(Symphony)	D-ADD事例紹介設計文書管理
第12回 2015/7/13	飯島雅人(ミサワホーム)	スマートホームの創り方
	渡辺泰久(オムロン)	制御コンポ向けセキュアプラットフォーム構築への取り組み

OSD部会 2015年度活動内容(2/3)

回・日時	発表者・所属	タイトル
第13回 2015/9/28	山本修一郎(名古屋大学)	名古屋大学における保証ケース研究の取り組み
	権藤正樹(イーソル)	アジャイルの実践と機能安全への挑戦
第14回 2015/10/19	佐藤一郎(NII)	IoT/組込システムとパーソナルデータ
	鱈原晴彦 (人間中心設計推進機構)	DEOSプロセス内におけるヒューマンファクターの扱いについて
第15回 2015/11/16	渡辺政彦(キャッツ)	CASEツール
	木下佳樹(神奈川大学)	IEC62853制度活動近況
第17回 2016/1/18	山浦一郎 (富士ゼロックス)	自動車業界におけるDEOS技術の適用状況と今後の可能性
	根本強一(CQC)	IoT時代に向けたソフトウェア品質造りについて
第18回 2016/2/15	田中英明(シーイーシー)	Clear Docの紹介
	内田功志(SERA)	SERAの紹介
第19回 2016/3/14	大野毅(横河電機)	横河電機の課題アップデート:サステナブルプラントの実現
	町田欣史(NTTデータ)	NTTデータにおけるアシュアランスケースの活用

OSD部会 2015年度活動内容(3/3)

回・日時	発表者・所属	タイトル
第20回 2016/4/18	落水浩一郎 (University of Information Technology, Myanmar)	システムオブシステムズとデペンダビリティ
	永山辰巳 (Symphony)	直流電力融通技術開発と運用実験へ向けて
第21回 2016/5/16	大槻政昭 (アイコクアルファ)	D-ADD/D-Case導入で狙う1ランク上のソフトウェア品質
	中村良道 (スマートエネルギー研究所)	社会的に最も影響力のある分散型エネルギーシステムとは何か

OSD部会 関連事業

2013年より、DEOS関連事業としてWOSD (Workshop on Open Systems Dependability) の開催・運営に携わり、OSD/DEOSの国際的な普及に貢献してきた。

第3回WOSD ISSRE at Pasadena, California, USA, November 4, 2013

第4回WOSD ISSRE at Naples, ITALY, November 4, 2014

第5回WOSD ISSRE at Gaithersburg, MD, USA, November 3, 2015

2016年度はProgram Co-Chairの日程調整上の理由からISSREにおける併設Workshopを断念し、CRITIS 2016 Paris, Franceにおける併設ワークショップとして、10月10日～12日のいずれかに開催予定。

第6回WOSD CRITIS at Paris, France, October 10～12, M. Tokoro General Chair, Y. Kinoshita and Robin Bloomfield Program Co-Chair

OSD部会 2016年度活動計画

DEOS運営会議後の枠で、7月以降はOSD部会と技術部会を隔月開催する。

■OSD部会(偶数月)

内容: DEOS技術や関連する技術に関する話題提供

参加者: 会員+講演者+会員候補

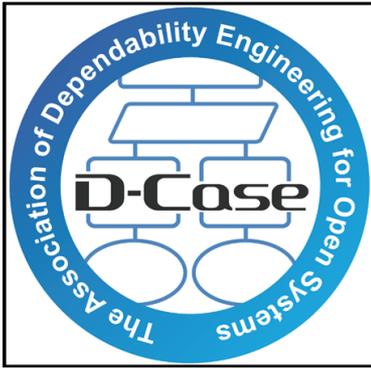
■技術部会(奇数月)

内容: 技術統合に向けて特定技術への理解や議論を深めるセッション

参加者: 会員

月	7月	8月	9月	10月	11月
部会	技術部会	OSD部会	技術部会	OSD部会	技術部会
テーマ/ 担当者	D-Case/ 松野or山本	調整中	DEOSプロセス/ 武山	調整中	D-ADD/ 永山or横手

...



D-Case部会活動報告



- 運営体制:
 - 主査 山本修一郎(名大)・松野裕(日大)
 - 副主査: 小林展英(デンソークリエイト)
- 活動方針
 - D-Case構文の整備とシラバスの策定
 - D-Caseライブラリーの整備
 - D-Case Editor v1.0
 - D-Case認証
 - D-Case研究会
 - 2013年より毎年2～3回開催、発表総件数43件

2015年度 活動内容

- D-Case研究会
 - 2015年05月：第8回D-Case研究会（@東京 日大駿河台キャンパス）
 - 2015年10月：第9回D-Case研究会（@名古屋 デンソークリエイト）
- D-Case認証活動
 - 2015年5月：D-Case構文定義書公開
- D-Case活用事例
 - D-Case作成時のリファレンスとなる事例を多数公開中
（<http://www.dcase.jp>）
- 他団体との連携
 - IPA, JASPICと連携したD-Case関連の教育講座を開講

2016年度 活動計画

活動	1Q	2Q	3Q	4Q
研究会	4月：第10回開催 (@東京)	-	10月：第11回開催 (@名古屋)	3月：第12回開催 (@東京)
ワーク ショップ	6月：第1回開催 (@東京)	9月：第2回開催 (@名古屋)	11月：第3回開催 (@東京)	3月：第4回開催 (@名古屋)

D-Case研究会

- 4/22(金)：第10回研究会開催 @東京 日大駿河台キャンパスにて開催
 - 山本先生(名大)、松野先生(日大)、保井先生(慶応)、森様(三菱)、町田様(NTTデータ)、金子様(NTTデータ)、宇都宮(デンソークリエイト)

ワークショップ

- D-Caseの基本的な記述方法を習得し、演習を通じて説明の仕方を体験
- 6/17(金)：第1回ワークショップ開催 @国立情報学研究所
 - <http://www.dcase.jp/> … こちらからご案内予定

D-ADD部会(旧技術部会)の 活動報告



- 運営体制
 - 主査: 永山辰巳 (Symphony)
 - 副主査 横手靖彦 (サイバーアイ・エンタテインメント株式会社)
- 活動方針
 - D-ADDの技術開発・整備
 - 実利用の促進
 - 技術部会(D-ADD)シンポジウムの開催

D-ADD部会活動内容

- 技術部会会員の獲得を目指し、D-ADDを中心としたツール開発の目標を提示
 - 2015年夏: DEOS標準プロセスツールの開発計画策定
- DEOS協会、ならびIoT Home Allianceの人脈を通じて会員への説明、啓蒙に努めた(2016年5月27日現在)
- アイシンコムクルーズの鈴木氏の発案で、自動車ソフトウェア開発の現場にDEOSプロセスを導入するアイデアとして、G思考ツールなる現場導入メリットの高い発想で、DEOSプロセスを、負荷なく導入する計画を立案し、推進中。
- 第4回技術部会を開催し、D-ADD普及を図った。また、OSD部会においてD-ADD部会より3件の事例発表を行った

2016年度D-ADD部会活動予定

- D-ADD部会を毎月開催する
 - アイコクアルファ、CEC、PSIソリューションズ、DISQ、CATS、その他会員企業による発表と議論
- G思考ツールを共通のプラットフォームとして、各社の技術のつなぎ込みを検討
- 目に見える形で具体的な成果を出し、普及促進に貢献する

標準化部会活動報告



- 運営体制

- 主査： 木下 佳樹 (神奈川大学)
- 副主査： 森田 直 (ソニーCSL)
- 幹事： 奥野 康二 (神奈川大学)

- 活動方針

- IEC TC56 Dependability PT4.8にてIEC 62853 Open Systems Dependability の制定を進める
- その他、DEOS関連の標準化推進に貢献する。

標準化部会活動内容

- **IEC 62853 Open systems dependability 制定活動に寄与**
 - 部会長がConvenorを務めるIEC TC56 Dependability WG4 Information Systemsにおいて、以下の会議を開催し、IEC 62853策定のための審議、作業を行った
 - 2015-10-19～23, Glasgow, TC56 Plenary meeting
 - 2016-05-09～13, Paris, TC56 interim meeting
 - Smart citiesや車載システムなどの分野から照会を得ている
 - TC56の次世代Dependability標準として期待されている(Chairmanのコメント)
 - 部会長が主査を務めるIEC TC56 WG4国内委員会に於いて、2015-08-27, 2015-11-30, 2016-01-29 にIEC 62853策定のための国内審議を行った
- **例会並びに講演会**
 - **第三回例会・講演会 2015-07-21**
 - サービス化する経済における標準化(大芦 誠/日本規格協会)
 - DEOSライフサイクルモデルについて(武山 誠/神奈川大学)
 - IEC 62853 Open systems dependability 制定の最新動向(木下 佳樹/神奈川大学)
 - **第四回例会・講演会 2016-03-16**
 - 計量器のリスク対策の変化(渡邊宏/産業技術総合研究所)
 - アシュランス議論のための6W1Hモデル(木下修司/神奈川大学)
 - IEC 62853 Open systems dependability 制定活動の最新動向(木下佳樹/神奈川大学)

標準化部会活動計画

- **IEC 62853 Open systems dependability 制定活動に寄与**
 - IEC TC56 WG4は以下の会議を予定している
 - 2016-10-31～11-04 Sydney にてplenary meeting
 - 2017-05 CopenhagenにてInterim meeting
- **例会並びに講演会**
 - **第5回例会・講演会 2016-07予定**
 - 62853 4CDへのコメント検討
 - 62853発効後の標準化戦略検討
 - その他講演を予定
 - **第6回例会・講演会 2016-12予定**
 - 62853 CDVへのコメント検討
 - 62853発効後の標準化戦略検討
 - その他講演を予定

DEOS認証部会活動報告



- 体制
 - 主査: 高村博紀(アトリエ)
- 活動方針
 - 以下を目的として認証を行う
 - 利用者がディペンダブルな製品・システム・サービスの選択ができる
 - 提供者が自社が提供する製品・システム・サービスがディペンダブルであることを市場・社会に訴求できる
 - 研究者がディペンダブル技術の産業界で動向を把握できる
 - DEOS成果の普及・活用状況を社会に発信できる
 - 最終的にディペンダブルなICT社会実現に貢献できる
- これまでの認証取得製品
 - チェンジビジョン社 astah-GSN (D-Caseツール)
 - デンソークリエイイト社 D-Caseトレーニング構造編(D-Case教材)

DEOS認証部会活動内容

新たに株式会社豆蔵がDEOS認証を獲得しました

- D-Case認証（2016年5月16日）
 - 株式会社豆蔵殿
 - 認証対象：D-Case教材（「D-Case教育シラバス」ならびに「D-Case構文定義書（v1.1）」に基づき製作された教育教材）に対する認証
- 今後の計画
 - 月一回DEOS認証部会を開催
 - 今後も認証取得を支援します。奮ってご参加ください。

DEOS認証部会活動予定

- D-ADD認証の検討並びに対象製品の選定・認証
- IEC 62853制定に向けて、オープンシステムディペンダビリティ国際規格への適合評価の準備に入る。
- D-Case教材・ツール認証
- 今後も月一回DEOS認証部会を開催

今後も認証取得を支援します。
奮ってご参加ください。



(新)技術部会について

主査 = 富士ゼロックス 山浦
副主査 = パナソニック 中川

[技術テーマ]

- ・当面以下のDEOS関連技術担当に関して隔月で説明し、メンバと議論して深掘する
1. D-Case
 2. DEOSプロセス
 3. D-ADD

[目的]

- ・DEOS技術への理解や議論を深める
- ・会員企業でのDEOS活動成果の活用を促進する
- ・DEOS各部会の活動を活性化する
- ・将来的にはDEOS関連技術を連携させ統合させる場とする

[出席者]

- ・DEOS協会会員
出席の目的: DEOS関連技術の内容把握、要望の提出や質疑応答
- ・全部会の主査および副主査
出席の目的: 担当技術の活用促進、会員の要望の把握、他部会との連携強化



(新)技術部会について

- 開催日:** 奇数月の(基本的に)第3月曜日 (※2016年7月25日から開始)
開催時間: 17:00~19:00
開催場所: Sony CSL(五反田)
参加者: 会員メンバ

※下記のテーマスケジュールは調整中であり、変更されることもあります。
開催毎に事前に会員メンバへ連絡メールを送付させていただきます。
社内の関係者への展開をよろしくお願ひします。

	7月25日(月)	8月	9月26日(月)	10月	11月21日(月)	...
	技術部会	OSD部会	技術部会	OSD部会	技術部会	...
テーマ/ 担当者	D-Case/ 松野or山本		DEOSプロセス/武山		D-ADD/ 永山or横手	

・活用が広まっているD-Case。
・記述や活用時の疑問や要望を研究者にぶつけてみませんか？
・D-Caseの適用事例やD-Caseを中心とした研究の解説も交えて活発な議論を期待します。

・DEOSプロセスとは何か？
・国際標準化を進めていますが内容を早期に理解するチャンスです。
・プロセスの構造や意味、ベースとなる他標準との関係など質疑応答ベースに進めます。

・D-ADDとは何か？
・合意記述、D-Caseのデータベース化、文書管理技術などD-ADDが提供するキーとなる技術を中心に質疑・応答ベースで理解を促進し新たな活用を目指します。



一般社団法人 ディペンダビリティ技術推進協会

引き続きご支援をよろしくおねがいします

